

## ナミビア

## 主要データ

国名〔英名〕	ナミビア共和国〔Republic of Namibia〕
面積 (km <sup>2</sup> )	824, 292
海岸線延長 (km)	1, 572
人口 (百万人)	2. 4
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	3. 0
GDP (十億 US\$)	10. 18
一人当り GDP (US\$)	4, 178. 18
主要鉱産物：鉱石	銅、鉛、亜鉛、マンガン、ウラン
主要鉱産物：地金	銅、亜鉛
鉱業管轄官庁	鉱山エネルギー省 (Ministry of Mines and Energy)
鉱業関連政府機関	地質調査所 (Geological Survey of Namibia)、鉱物エネルギー政策センター (Mineral and Energy Policy Centre)
鉱業法	鉱物資源法 (Minerals Act 33 of 1992)
ロイヤルティ	市場価格により鉱山エネルギー省が決定。2017 年 12 月時点では金、銅、亜鉛、その他のベースメタル、ウランは 3%
外資法	外国投資法 (Foreign Investment Act, No. 27 of 1990) 投資促進法 (Namibia Investment Promotion Act, 2016)
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	Environmental Management Act 7 of 2007
鉱業公社	Epangelo Mining Ltd. (2009. 12 設立)
鉱業活動中の民間企業	Glencore、Rio Tinto、Weatherly International plc、Paladin、CNNC など
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	近年、国営鉱山会社の設立や新規ライセンス付与の国営公社への限定に加え、超過利潤税、輸出関税の導入などの動きが見られる。また、不遇ナミビア人への優遇政策を進めている。
2016 年のトピックス	・ Husab ウラン鉱山が 2016 年 12 月に生産を開始。

## 1. 鉱業一般概況

## (1) 鉱業概況

ナミビアにおいて鉱業は GDP の約四分の一、外貨収入の約半分を生み出す主力産業である。ダイヤモンド、ウラン、亜鉛、銅、蛍石、金、銀等が主な生産物となっており、特にダイヤモンドについては世界最大手 De Beers 社と共同で政府が会社を設立し、生産、加工等の高付加価値化を推進している他、さらに近年ではウラン生産の拡大が注目されている。ウラン探鉱は 1960 年代後半から大規模な探鉱が始まり、国内に多くのウラン鉱床・鉱徴地の賦存が確認された。同国のウラン資源は、低品位ながら規模が大きいという特徴を有しており、世界原子力協会によれば、同国は世界生産の 1 割を供給可能であるとして、今では世界有数のウラン生産国となっている。現在生産中の鉱山は Rossing ウラン鉱山 (1976 年生産開始) 及び Langer Heinrich ウラン鉱山 (2007 年生産開始) の 2 鉱山であるが、水の供給問題によって当初予定よりも遅れたものの、Husab ウラン鉱山が 2016 年 12 月に生産を開始し、同国のウラン生産量は大幅に増加、2017 年には世界最大級の生産国になると予想されている。

## 2. 鉱業政策の主な動き

### (1) 国営鉱山会社の動き

政府は2009年12月に国営鉱山公社 Epangelo Mining Ltd を政府100%出資で設立し、2011年4月には、戦略的鉱物(Strategic Minerals: ウラン、金、銅、ダイヤモンド及びレアアース等を含む)の探鉱及び採掘ライセンスを国営会社のみが付与するとの閣議決定を行った。既得ライセンスとの関係については、2011年5月10日付で Katali 鉱山エネルギー大臣は『ナミビアの鉱業における官民パートナーシップに関して』と題した声明文を発表し、上記閣議決定は、既得のライセンスには適用されないことを明確にしている。また Epangelo 社が当初100%権益を有するものの、JVスキームが適用され、JVパートナーは自社権益比率について個別交渉が可能となっている。なお、2014年5月には、政府は戦略的鉱物の採掘について法制化するプロセスにあると報じられたが、その後具体的な進展は確認されていない。

### (2) 現地化 (Empowerment) 法導入の動き

2009年4月、政府は、排他的探鉱ライセンス (Exclusive Prospecting License, EPL) の新規申請や更新の際には、現地株主所有権の導入や現地貧困対策への取組みを求めることを発表した。2010年10月には Anglo American から Vedanta への Skorpion 亜鉛鉱山の権益売却の承認に際して、政府競争政策委員会(NCC)が、地方投資家への株式売却の勧告等を実施した。こうした中で政府は、鉱物資産の黒人所有の拡大の方針を示しており、Kandjoze 鉱山エネルギー大臣は2017年4月までに鉱山会社株式の少なくとも5%をナミビア国民に移転することを規定した Empowerment 法の導入を目指すとして2016年2月に発言した。その後、2016年8月までパブリック・コンサルテーションが実施され、国会の委員会との協議が行われるなどしたものの、最終案が国会に提出されるまでには至っていない。一方で鉱山エネルギー省のHPには新規EPLの申請にはマネジメントに最低20%の disadvantaged Namibian を会社経営陣に置くこと、権益の最低5%をナミビア人もしくはナミビア企業に保有させることが要件との記載がみられる。

### (3) 鉱業関連税制の動き

法人税については、一般企業は33%なのに対し、鉱山企業は37.5%、ダイヤモンド関連企業に関しては55%が課されている。

ロイヤルティは市場価格により鉱山エネルギー省が決定するが、2017年12月時点では金、銅、亜鉛、その他のベースメタル、ウランは3%となっている。

2011年には政府は鉱石の付加価値化を促すため、最大2%の鉱石輸出関税及び超過利潤税 (windfall tax) の導入を可能にする税制改正案を承認しており、課される可能性がある。

政府は複数の省にまたがる Joint Value Addition Committee (JVAC) を設立し、雇用創出と輸出収入の増大を図るための高付加価値化政策を打ち出している。その一環として、2017年1月施行の Export Levy Act を制定し、鉱石の輸出関税については鉱種によって輸出価格の0~2%が課されることとなった。

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

## (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2014年(千t)	2015年(千t)	2016年(千t)	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
ウラン	3.3	3.0	3.0	0.2	4.9	6
亜鉛	172.8	123.7	118.5	-4.2	0.9	16
マンガン	104.5	38.4	16.9	-56.0	0.0	21

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2017)

## (2) 主要金属地金生産量

僅少

## (3) 主要金属消費量

データなし

## (4) 主要金属輸出货量

表 3-2. 主要金属輸出货量

鉱種	2014年(千t)	2015年(千t)	2016年(千t)	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
鉄鉱石	0.1	0.3	0.6	115.1	南ア
マンガン鉱石	52.4	20.2	11.3	-44.1	シンガポール、中国
銅鉱石	48.6	25.1	86.2	243.9	スイス、中国
鉛鉱石	22.7	11.9	76.3	538.6	スイス、中国
亜鉛鉱石	100.4	109.7	65.9	-39.9	伊、加、中国
ウラン鉱石	5.2	3.6	4.3	16.7	仏、中国、米

(出典：Global Trade Atlas)

## (5) 主要金属輸入量

表 3-3. 主要金属輸入量

鉱種	2014年(千t)	2015年(千t)	2016年(千t)	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
鉄鉱石	0.2	5.3	0.0	-100.0	南ア
マンガン鉱石	0.0	0.0	7.6	136928.3	モロッコ、南ア
銅鉱石	115.3	119.6	185.2	54.9	ペルー、ブルガリア、スイス

(出典：Global Trade Atlas)

## 4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	2016年生産量(千t)	備考
Tschudi (Tsumeb West) 鉱山	Weatherly International plc. (96.5), 非公開(3.5)	銅、鉛、銀、亜鉛	17	銅年産能力
Skorpion 鉱山	Vedanta Ltd (100)	亜鉛	1,500	生産能力を記載。資源量減少も 2020 年までは生産継続の予定。

Rosh Pinah 鉱山	Trevali Mining Corp. (80.08)、 Mine Workers (19.92)	亜鉛 鉛 銀	39.7 6.8 308koz	2017年8月に Trevali が Glencore から買収。
Rossing 鉱山	Rio Tinto(68.6)、イラン政府 (15)、Industrial Development Corporation of South Africa (10)、Private Interest(3.4)、 ナミビア政府(3)	ウラン	1.85	1976年生産開始 年産能力 4,500t
Langer Heinrich 鉱 山	Paladin Energy Ltd. (51) China National Nuclear Corp. (49)	ウラン	2.16	2006年生産開始
Husab	China General Nuclear Power Company(90) , Epangelo(10)	ウラン	-	2016年末の生産開始 15MMポンドの生産目標
Otjodzundu 鉱山	Shaw River Manganese Ltd(100)	マンガン	-	

(出典：世界原子力協会、各社 HP)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬・精錬所名	権益所有企業(権益：%)	鉱種・形態	2016年 生産量 (千t)	備考
Tsumeb 製錬所	Dundee Precious Metals Inc. (加) (100)	粗銅	200	240ktの年産能力あり。
Skorpion 精錬所	Sterlite Indstrs Ltd. (100) (Vedanta Resources 子会社)	亜鉛	115	2010年 Anglo American から Vedanta 社が買収。 150ktの年産能力あり。

(出典：各社 Annual Report)

## 5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱状況

プロジェクト名	鉱種	権益保有企業 (%)
Abenab	バナジウム、鉛、亜鉛、銅、レアアース	AVZ Minerals Ltd(95), 非公開(5)
Anomaly No. 18	ウラン	Zhonghe Mining Industry Dev. (100)
Aukam	グラファイト	CKR Carbon Corp(63), Next Graphite(37)
Dorne	ウラン	GoviEx Uranium Inc. (90), Manica Minerals Ltd(10)
Dordabis	銅	North River Resources Plc(100)
Epembe	タンタル、ニオブ、ウラン、リン	African Mining Capital Pty Ltd(64), International Base Metals Ltd(31), Namibian Former Robben Island(5)
Etango	ウラン	Bannerman Resources Ltd(95), One Economy Corp. (5)
Grootfontein	銅、亜鉛、鉛、銀、バナジウム	Golden Deeps Ltd(80), 非公開(20)
Guchab	銅、銀	Sabre Resources Ltd(80), 非公開(20)
Haib	銅、金、モリブデン	Deep-South Resources Inc. (100)
Hammerhead	鉄鉱石、マグネタイト、銅、銀	AVZ Minerals Ltd(95), 非公開(5)
Huab	ウラン	Golden Deeps Ltd. (80), Huab Energy Pty Ltd (20)
Kalahari Copperbelt	銅	Hartmann Geoservices CC (100)
Kaoko	銅、銀	Teck Resources Ltd(65), INV Metals Inc(35)
Karibib	リチウム他	Auroch Minerals Ltd. (100)

Kombat	銅、鉛、銀	Trigon Metals Inc. (80), Government of the Repub of NA(10), Grove Export CC(10)
Kuiseb	銅、金	Takoradi Ltd(70), 非公開(30)
Lofdal	レアアース	Namibia Rare Earths Inc. (100)
Marenica	ウラン	Marenica Energy Ltd(75), Xanthos Mining Ltd(20), Millennium Minerals(5)
Mile 72	ウラン	Metals Australia Ltd(100)
Namib	鉛、亜鉛、銀	North River Resources Plc(100)
Norasa	ウラン	Forsys Metals Corp. (100)
Nova Energy JV	ウラン	Deep Yellow Ltd(39.5), JOGMEC(39.5), Toro Energy(15), Sixzone Investments(6)
Opuwo	コバルト、銅、亜鉛、マンガン	Celsius Resources Ltd. (76), Kunene Resources Holdings (24)
Rehboth	銅、銀	Jiangxi Bureau Geological(100)
Steinhausen	銅、金、ニッケル	International Base Metals(100)
Tschudi Extension	銅、銀	Congo Namibia (Pty) Ltd(80), 非公開(20)
Tsumeb Slag	亜鉛、鉛	Dundee Precious Metals Inc(100)
Uis	リチウム、タンタル、錫	Tawana Resources NL(95), Local Interest(5)
Witvlei	銅、銀	North River Resources Plc(100)

(出典：各社 HP 等)

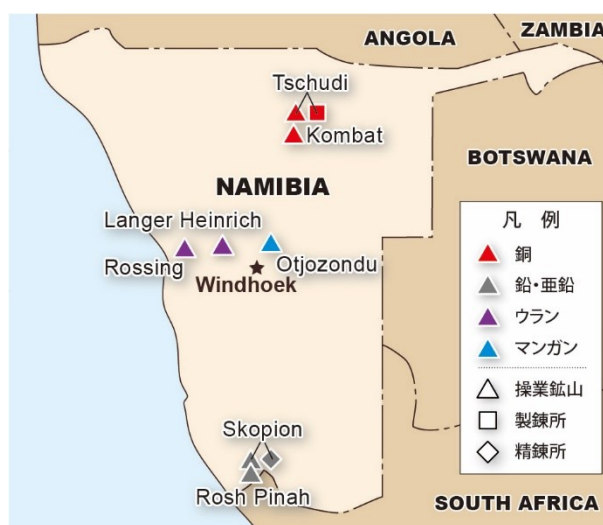


図 1. 主要鉱山、製錬所、精錬所位置図

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

データなし

### (2) 日本企業による投資状況等

- ・ JOGMEC は、ブラジルの亜鉛生産大手である Votorantim Metais 社の子会社である Votorantim Metais zinco 社と、オタビ西地域における亜鉛・鉛・インジウムをターゲットとした共同探鉱契約を 2015 年 8 月に締結し探鉱を実施・継続している。

## 7. その他トピックス

- ・ 2016年7月にLanger Heinrich ウラン鉱山の75%権益を有するParadin Resources社は、同鉱山の25%権益を有するChina National Nuclear Corporation 子会社CNNC Overseas Uranium Holding Ltdに対し、175百万US\$で自社権益24%を売却したと報じられた。これにより、CNNCは同鉱山の49%権益を保有することとなる。なお、2014年1月にCNNC Overseas Uranium Holding Ltdは190百万US\$で同鉱山の25%権益及び25%の生産物引き取り権を取得していた。
- ・ 2016年9月29日付メディア報道によれば、2016年11月にHusab ウラン鉱山が生産を開始すると2017年までにナミビアのウラン生産量は3倍になり、同国は世界第3位のウラン生産国になると予測される。同プロジェクト管理を行うSwakop Uranium社によると、Husab ウラン鉱山からのウラン生産量は年間1,500万tになり、徐々に拡大したのち最大生産量は年間5,000万tになるといふ。ナミビアのウラン生産量は、現在カザフスタン、カナダ、豪州、ニジェール、ロシアに次いで世界第6位であるが、同国の中央銀行によると、ウラン生産量は2016年に対前年比63%、2017年に90%増加し、最大級のウラン生産国になると予測される。
- ・ 2017年3月13日にGlencoreはプレスリリースにて、同社が保有するナミビアRosh Pinah 亜鉛鉱山の権益80%及びブルキナファソPerkoa 亜鉛鉱山の権益90%を加Trevali Mining Corporation (Trevali)社に総額4億US\$で売却することで最終契約を結んだことを発表した。規制当局の承認後、2017年7月に売却完了を予定している。Trevali社は、現在ペルー及びカナダに亜鉛鉱山を所有しており、Rosh Pinah、Perkoa 亜鉛鉱山が同社ポートフォリオに加わることで、亜鉛に集中した世界で唯一のグローバル鉱山企業となるという。また、Glencoreは、Trevali社の直接所有権を4%から25%に増加させ、取締役を2席確保する。さらに、Trevali社の所有する全4鉱山とオフテイク契約を結ぶという。取引完了後、Trevali社の年間亜鉛生産量は23万tとなり、操業地は北米、南米、アフリカに拡大することになる。Glencoreの亜鉛マーケティング代表Daniel Mate氏は、「Trevali社が市場で一流亜鉛企業として進化している時に、パートナーシップを強化できることを喜ばしく思う。我々はTrevali社の最初の鉱山開発からパートナーとして協働しており、ビジネスの将来成長において同じビジョンを共有している」と述べている。

(2017.12.7 ロンドン事務所 吉益英孝)